



2013 年度日本華僑華人学会第2回研究会
新たな僑郷研究の展開—国内・国外からの視点
12月14日(土) 12:30~18:00

プログラム

12:30~12:50 趣旨説明：川口幸大（東北大学）・市川哲（立教大学）

12:50~13:25 稲澤努（東北大学）

「現代の僑郷と人の移動—広東省東部の地方都市の事例から」

13:25~14:00 長沼さやか（静岡大学）

「広東省珠江デルタにおける僑郷の成り立ち—華僑のいる村といない村からの考察」

14:00~14:35 兼城系絵（鹿児島大学）「“移民”が支える神祇祭祀—福建省福州市のある僑郷の事例から」

14:35~14:50 休憩

14:50~15:25 小林宏至（日本学術振興会特別研究員）

「故郷からの災因論—21世紀におけるティピカルな風水事例から」

15:25~16:00 市川哲（立教大学）

「ルーツ・シーキングからルーツ・ツーリズムへ—パプアニューギニア華人にとっての僑郷と中国」

16:00~16:35 櫻田涼子（育英短期大学）

「語られ、共有される〈美しい過去〉—南洋華人とそのふるさと」

16:35~16:50 休憩

16:50~18:00 コメント：宮原暁（大阪大学）・総合討論

場所：立教大学池袋キャンパス太刀川記念会館第一・第二会議室

日本華僑華人学会

連絡：

川口幸大 (yukihirokawaguchi@hotmail.com)

市川 哲 (tetsu-i@kb3.so-net.ne.jp)